

白煙と悪臭のモスクワ旅行 (その2)

中谷 征司 (1962年卒)

3. 壮大な無駄

モスクワのホテルから外をみると、すぐ近くの薄霧・白煙のなかに、なにやら二次曲線状の異様な建造物が見える。旅行前読んだロシア語同時通訳者、エッセイスト米原万里女史の著書で、ロシア人の「気宇壮大な無駄」の代表例として紹介していた宇宙飛行士記念博物館を飾るモニュメントらしい。ロケットとその軌跡をチタンで作った60メートルもある記念建造物である。

昼間でも霧っているモニュメントと比較のために晴天時の雄姿(野口宇宙飛行士のブログから借用)をご紹介します。



写真6 ホテルから見たスモッグの中のチタン製モニュメント



写真7 晴天にそびえるモニュメント(野口宇宙飛行士のブログより)

日本でもチタンの特性を生かしてドーム球場の屋根などに使っている例があり、宇宙ロケット及びその軌跡のモニュメントにチタンを使ったことにあきれるのは失礼かもしれない。どのくらいの量のチタンが使われているのか、製造費はどれくらいなのか資料がないので、これをもってロシア民族の無駄好きの例として良いのか、筆者には判断出来ないが、これは無駄だと思う展示物をクレムリン宮殿の庭で見つけた。

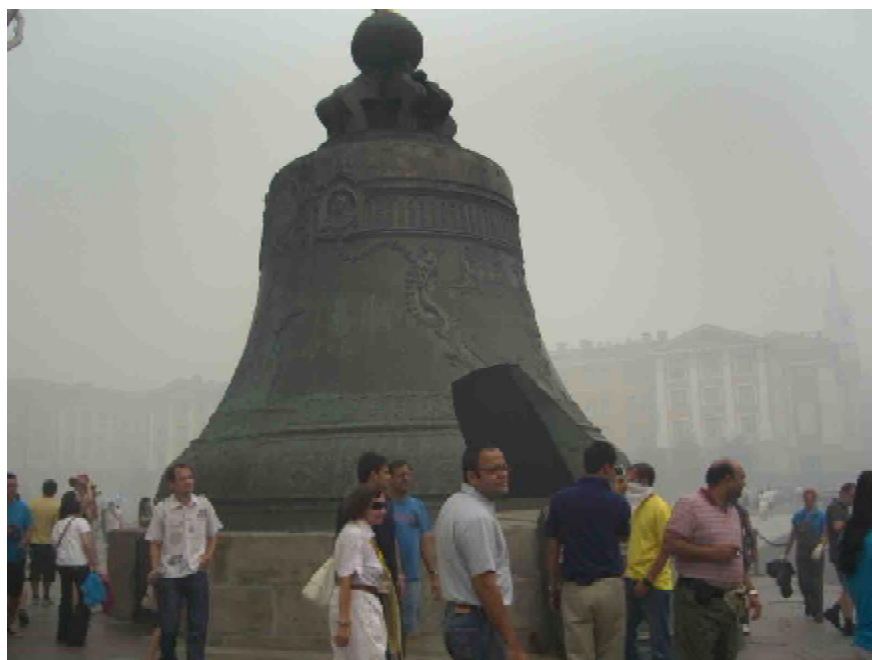


写真8 鐘の皇帝

1) 鐘の皇帝

写真の鐘は重量200トン、世界一の鐘として鎮座している。ただ1737年鑄造中に火事が発生し、消火のため水をかけたので亀裂が入り割れてしまったとかで、使用されたことのない割れた鐘を堂々と展示しているのである。

因みに我が国の鐘（梵鐘）で最大なのは、1936年に製造された知恩院の70トンの鐘らしいが、実は戦前四天王寺には158トンの鐘があったが、軍部の命令で供出されたとか。200トンの役に立たない鉄のかたまりを、200年以上も展示している国との彼我の差を感じざるを得なかった。

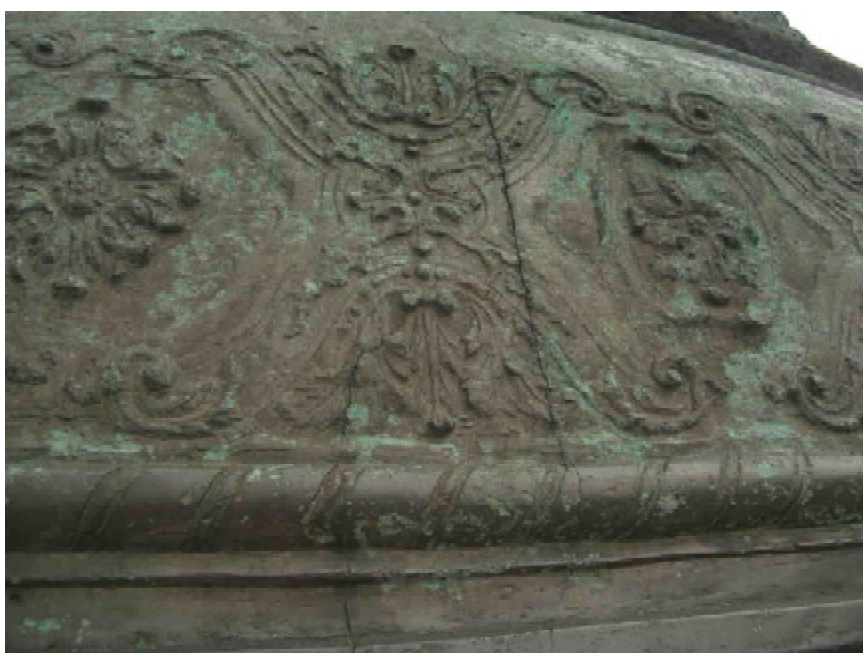


写真9 他の箇所にも亀裂が

2) 大砲の皇帝

写真の大砲は1586年製造、重量は40トン、世界一の大きさとの事であるが青銅製で、使われたことはないらしい。 鑄鉄製の装飾された砲架の上に、1トンの砲弾とともに展示されている。 クレムリン防衛のためのシンボルなのであろうか。



写真10 皇帝の大砲

この大砲が世の実用的な大砲とどれくらいサイズが違うのか、筆者には比較する基礎知識がないが、クレムリン宮殿の建物沿いにずらりと陳列されている800台の大砲(1812年ナポレオン戦争でフランス軍が放置していったものを持ってきた)は、この皇帝の大砲と比較するとおもちゃのように見えることは確かである。



写真11 戦利品として並ぶナポレオンの大砲

4. 最後に

秘密のベールに包まれ、暗いイメージで世界の半分を差配していると思われていたクレムリンが解放されてすでに20年。スモッグのお陰で暗いイメージはそのままながら、世界中の観光客が和気藹々と歩き回っているのを見るのは少々感慨深いものがあった。出来ることならアジア南部に降る大雨がこの街を潤し、文字通り明るい表情で我々を迎えてくれるようになるのを期待したいものである。

(おわり)

—— 京機短信への寄稿、宜しくお願ひ申し上げます ——

【要領】

宛先は京機会の e-mail: jimukyoku@keikikai.jp です。

原稿は、割付を考慮することなく、適当に書いてください。MSワードで書いて頂いても結構ですし、テキストファイルと図や写真を別のファイルとして送って頂いても結構です。割付等、掲載用の後処理は編集者が勝手に行います。宜しくお願ひ致します。

野次馬話 第6話 「改正反対」

S43卒 遠藤照男

自民党が政権を取っていた頃の話。朝日新聞や自民党以外の政党が、よく政府や自民党のやることに楯突いていた。

政府や自民党が、〇〇改正法案を提案したとしよう。「改正」は政府や自民党の立場から見て「改正」であって、朝日新聞その他の立場からは「改悪」以外の何物でもないのだが、「改正反対」と論陣を張る。社民党の懲罰代議士・辻本清美も「多くの平和憲法改正反対の声を期待します。」とやっていた。

お分かりですね。「正しい」と自ら使い、それに「反対」とであると主張する結果になっている。客観的、中立的な視点で述べるのなら「改訂」なのだが。しかし、共産党は徹底して「改悪反対」と言っている。絶対の悪か否かは別にして、彼の党の正義から見ると悪なのだから、筋が通った使い方である

中国四国支部 技術交流会および支部役員連絡会のご案内

猛暑の候、会員の皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、中国・四国支部におきましては、下記の通り【技術交流会】および【支部役員連絡会】を開催します。つきまして、支部役員のみならず会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。



－ 記 －

1. 日時 平成22年10月16日(土) 14:30～19:50
2. 場所 技術交流会(見学会): 坂出LNG基地および坂出發電所
・四国電力(株) 坂出發電所
天然ガスを燃料とするコンバインドサイクルの発電所です。
http://www.yonden.co.jp/energy/p_station/thermal/sakai.de.html
・坂出LNG(株) 坂出LNG基地
平成22年3月25日に営業運転を開始した最新のLNG基地です。
http://www.yonden.co.jp/corporate/yonden/group/group/sakai.de_lng.html
・支部役員連絡会及び懇親会:
坂出グランドホテル敷地内の「磯の匠」(予定) tel 0877-44-3300
<http://www.sakai.de-grandhotel.jp/iso-n/index.html>

4. 定員 25人

3. スケジュール

14:30	JR坂出駅集合(北口を出たところに集合下さい)	
14:30～14:50	車で移動	
14:50～15:50	坂出發電所見学	
15:50～16:00	車で移動	
16:00～17:00	坂出LNG基地見学	
17:00～17:20	車で移動	(注) 支部役員以外の方につきましては、
17:30～18:00	支部役員連絡会(運営会議)	オブザーバとしてご参加いただいても、
18:00～19:50	懇親会	散歩等で外していただいても結構です。

5. 参加費 5,000円/人 程度(懇親会費)

6. 申込期限 9月30日(木) 京機会本部のHPにて、お申し込み下さい。

<http://keikikai.jp/cgi-bin/index.cgi?D209>

7. その他

ご宿泊の方は、懇親会の横の坂出グランドホテルにご宿泊できますので、各自、予約をお願いします。(シングル5,500円程度)

坂出グランドホテル tel : TEL: 0877-44-1000

<http://www.sakaide-grandhotel.jp/sakaide/index.html>

★JR坂出駅までのアクセス方法

極力、公共機関をご使用いただきますようお願いいたします。

○関西から坂出までのJR便

往便復便

12:29 京都発（のぞみ25号）→12:45 新大阪発→13:30 岡山着

13:42 岡山発（マリンライナー35号）→14:19 坂出着

20:24 坂出發（マリンライナー62号）→21:05 岡山着

21:14 岡山発（のぞみ96号）→22:00 新大阪着→22:14 京都着

○山口・広島から坂出までのJR便

往便復便

12:14 新山口発（ひかり560号）→12:48 広島発（同上）→13:29 岡山着

13:42 岡山発（マリンライナー35号）→14:19 坂出着

20:24 坂出發（マリンライナー62号）→21:05 岡山着

21:31 岡山発（のぞみ61号）→22:05 広島着→22:37 新山口着

○高知から坂出までのJR便

往便復便

12:13 高知発（南風14号）→14:00 丸亀着

14:06 丸亀発（快速南風リレー号）→14:13 坂出着

20:38 坂出發（しまんと9号）→22:48 高知着

中部支部技術交流会および学生 & 0B懇親会

下記の通り開催いたします。

■日時：平成22年9月16日（木） 13:30～20:30

■場所

1) 工場見学会 (株)デンソー 高棚製作所 見学(愛知県安城市高棚町新道1)

2) 技術講演会 および 学生 & 0B懇親会

デンソー安城荘(愛知県安城市住吉町2-5-38)

■集合場所/時刻

1) 工場見学会に参加の方： 刈谷駅南口ロータリー前 / 12:50

2) 技術講演会、学生 & 0B懇親会のみ参加の方： デンソー安城荘に直接お越しください

■開催概要

1) 工場見学会(13:30～15:30) (株)デンソー 高棚製作所 自動車用メーター工場

注) 申し訳ありませんが同業他社の方の工場見学への参加はご遠慮ください

2) 技術講演会 および 学生 & 0B懇親会(16:30～20:30)

技術講演会：「東邦ガスにおける環境への取り組み」

東邦ガス株式会社 技術開発本部 技術企画部 部長 伊藤 広之 様(1983年卒)

■参加費：5,000円(懇親会費)

■参加申込：京機会HPからお願いします。

<http://keiki.kai.jp/shibu/cyubu/gijyutu.html>

■締切：9月9日（木）

■クールビズでお越し下さい

京機会九州支部 秋の行事

多数のご出席をお待ちしております。 他支部の皆様のご参加も大歓迎です。

◆日時：平成22年11月6日(土) 13:00～ 場所：北九州市

◆第一部：見学会・総会 TOTO(株)小倉第二工場 13:00～15:15

〒800-0293 北九州市小倉南区朽綱東5-1-1、Tel:093-471-1151(小倉第二工場 総務G)

※JR朽綱駅(日豊本線)より車で5分。TOTO(株)小倉第二工場地図

http://www.toto.co.jp/company/profile/office/map/kokura_2.htm

※第一部ご参加の方は、12:30までにJR朽綱駅前においでください。

◆第二部：見学会 松本清張記念館 15:45～16:45

〒803-0813 北九州市小倉北区内2番3号 Tel:093-582-2761

<http://www.kid.ne.jp/seicho/html/index.html>

◆第三部：懇親会 松柏園ホテル 17:00～20:00

〒802-0022 北九州市小倉北区上富野4-1-25 Tel:093-511-2228

懇親会費：本人 \8,000.-、家族 \5,000.-

※JR小倉駅より車で5分。 <http://www.shohakuen.com/>

◆第四部＜オプション：翌日行事＞：下関海響マラソン

<http://kaikyomarathon.jp/outline.html>

★第三部懇親会のみご参加の方は、直接会場においでください。

★第四部は自由参加です。(エントリーはすでに締め切り済み)

■参加申し込み方法：下記よりお申込みください。

<http://keikikai.jp/cgi-bin/index.cgi?D212>

第33回 京機関西支部 「産学懇話会」

ご参加予定のほど宜しくお願いいたします。

日 時： 平成22年10月9日(土) 13:30～17:00

場 所： 京都大学工学部物理系校舎 2F 216室

1. 13:30-14:30 「オンオフ型入力で高性能を目指す制御法について」

杉江俊治(1976年卒), 京都大学情報学研究科 システム科学専攻

制御はあまり目立ちませんが、高品質な材料・部品・完成品の製造過程や、高付加価値の付与など、我々の生活のあらゆる側面で必須とって過言ではありません。この機会に、標題のトピックスを含め、制御に関する研究室の最近の成果の一端を紹介します。

2. 14:40-15:40 「日本のISO戦略」

吉岡肇(1962年卒), 一志(株)顧問, 元三菱重工

ISO9000シリーズが1987年に制定されて以来、変遷しながら、業界を問わず多くの組織に受け入れられ、普及してきた。しかし、その適合組織の数は、2006年をピークに減少している。この辺りの実情を窺い知ることが何かの参考になると考え、ISO9001、ISO14001を中心にISOの適合認証取得及び維持の実態とメリット・デメリットを紹介する。

3. 15:50-16:50 「微小流路内の熱流動計測とその応用」

巽和也(1997年卒), 京都大学機械理工学専攻

微小な流路を用いて何が出来るのか。また、流路の中の熱・流体・物質輸送をどのように測定することができるのか。伝熱、流体、非ニュートン性、電場などの分野において、研究室で微小流路について行っているこれまで、そして現在の研究と成果について紹介します。

17:00—18:30 懇親会 懇親会参加費 1500 円（学生は 500 円）

◆ご参加いただける方は、下記フォームにご登録下さい。

<http://keikikai.jp/cgi-bin/index.cgi?D213>

京機会事務の中尾さんが個展を開かれます

庭にあそびに
中尾美園展



Gallery *i*

〒605-0074

東山区祇園町南側584番地

TEL.075-525-3203



2010年9月7日(火)～9月12日(日)
12:00-19:00 (最終日は-17:00)



応援、宜しく

「新成長戦略実現アクション100」、「平成23年度経済産業省の概算要求等」

1. 産業構造審議会総会（第10回） - 配付資料

<http://www.meti.go.jp/committee/materials2/data/g100830aj.html>

資料1 議事次第

<http://www.meti.go.jp/committee/materials2/downloadfiles/g100830a01j.pdf>

資料2 産業構造審議会総会委員名簿

<http://www.meti.go.jp/committee/materials2/downloadfiles/g100830a02j.pdf>

資料3-1 新成長戦略実現アクション100

<http://www.meti.go.jp/committee/materials2/downloadfiles/g100830a03j.pdf>

資料3-2 「新成長戦略工程表」と「新成長戦略実現アクション100」の関係について（案）

<http://www.meti.go.jp/committee/materials2/downloadfiles/g100830a04j.pdf>

資料4 産業構造審議会活動報告書

<http://www.meti.go.jp/committee/materials2/downloadfiles/g100830a05j.pdf>

2. 平成23年度経済産業省の概算要求等について 2010年8月30日

<http://www.meti.go.jp/main/yosangaisan/2011/index.html>

資料1：平成23年度経済産業政策の重点

<http://www.meti.go.jp/main/yosangaisan/2011/doc01.pdf>

資料2-1：平成23年度概算要求

<http://www.meti.go.jp/main/yosangaisan/2011/doc02-1.pdf>

資料2-2：一般会計既存予算の見直し・組替え

<http://www.meti.go.jp/main/yosangaisan/2011/doc02-2.pdf>

資料3：平成23年度資源エネルギー関連概算要求の概要

<http://www.meti.go.jp/main/yosangaisan/2011/doc03.pdf>

資料4-1：平成23年度税制改正に関する経済産業省要望のポイント

<http://www.meti.go.jp/main/yosangaisan/2011/doc04-1.pdf>

資料4-2：平成23年度税制改正に関する経済産業省要望

<http://www.meti.go.jp/main/yosangaisan/2011/doc04-2.pdf>

資料5：平成23年度経済産業省関係財政投融资要求の概要

<http://www.meti.go.jp/main/yosangaisan/2011/doc05.pdf>

資料6-1：平成23年度中小企業関係概算要求等のポイント

<http://www.meti.go.jp/main/yosangaisan/2011/doc06-1.pdf>

資料6-2：平成23年度中小企業関係概算要求・財政投融资要求の概要

<http://www.meti.go.jp/main/yosangaisan/2011/doc06-2.pdf>

資料7：平成23年度知的財産政策関係概算要求の概要

<http://www.meti.go.jp/main/yosangaisan/2011/doc07.pdf>

資料8：平成23年度貿易再保険特別会計概算要求の概要

<http://www.meti.go.jp/main/yosangaisan/2011/doc08.pdf>

資料9：平成23年度産業技術関連概算要求の概要

<http://www.meti.go.jp/main/yosangaisan/2011/doc09.pdf>

資料10：平成23年度原子力安全・保安院関連概算要求の概要

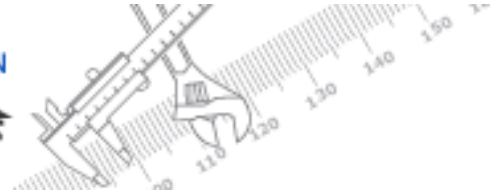
<http://www.meti.go.jp/main/yosangaisan/2011/doc10.pdf>

3. 経済対策の基本方針について 平成22年8月30日

<http://www.kantei.go.jp/jp/kakugikettei/2010/0830kihonhousin.pdf>

I. 基本的な考え方（「デフレ脱却」が当面の目標）

「新成長戦略」（平成22年6月閣議決定）では、「フェーズⅠ（デフレ清算期間）」において、需要面を中心とする政策により、2011年度中に消費者物価上昇率をプラスにし、速やかにデフレを終結させ、日本経済を本格的な回復軌道に乗せることを目指している。この「デフレ脱却」が、政府における当面の経済運営の目標である。



報告

第8回学生フォーミュラ大会まで残り1週間を切りました。チームメンバーは今年度車輛YJ-R08の最終調整と、当日審査員の方々の前で発表するデザイン、コスト、プレゼンテーション審査の準備に奔走しております。今回は、KARTの大会への準備状況を報告します。

大会目前のYJ-R08

大会まで残された期間はわずかではありますが、YJ-R08の性能を向上させるべく、各メンバーは最終調整に余念がありません。大会を最高のコンディションで迎えるべく、各種消耗パーツの交換や、自作部品の最終調整、塗装などを着実に進めています。また、ここ数年は大会期間中まで猛暑が続くため、走行練習中も水温、油温の管理をはじめ、走行しているドライバーの体調管理にも気を配り、予想される過酷な状況を乗り切るための練習を続けています。

3月のシェイクダウン以来、今年度車輛YJ-R08の走行距離はKART史上初の1000kmに到達し、その走行も非常に安定したものとなっています。ドライバーの経験も、これまで以上に積まれているので、これまでの練習の成果が出せるよう、自信を持って大会に臨みたいと考えています。

静的審査準備

動的審査同様にウェイトの重い静的審査の準備に関しても、現在ラストスパートが続いています。

事前提出書類による評価もあるデザイン、コストの両審査は、大会当日も車輛を前に、審査員の方々に説明を行い、評価を受けます。デザイン審査では設計ポイントのアピールを、図を多用して実施します。実際に車輛が目の前にあるため、審査員の方々により詳しく各部品での工夫を見ていただくことができる反面、質問に対する返答も明確に、分りやすく行わなくてはなりません。コスト審査では、構成パーツの中から指定されたパーツのコストを削減するための方策についての説明を行います。元来がコストを抑えるように作っている車輛ですので、そのための知恵を搾り出すのにも一苦勞です。しかしながら、両審査とも、設計者を交え、発表者が資料作りや発表練習に取り組んでいます。

また、学生フォーミュラ車輛の販売戦略を発表するプレゼンテーション審査でも、事前の調査結果を生かすような形でプレゼンテーションを作成、発表者が練習を重ねています。この審査では、企画の妥当性や採算性、将来性をアピールして、10分という短い時間の中で審査員の方々に納得していただく必要があるため、気の抜けない練習が続いています。

KARTはこの1年間、昨年度の雪辱を果たすため、全力で活動を行ってきました。大会では悔いの残らないよう、これまで培ってきた実力を遺憾なく発揮したいと思えます。

第8回全日本学生フォーミュラ大会開催のご案内

1年間にわたって活動を紹介してきました京都大学フォーミュラプロジェクトKARTが、ついにその実力を試すときがやってきました。

来る9月7日(火)～11日(土)の5日間にわたって静的、動的の各審査が静岡県にありますエコパ(小笠山総合運動公園)にてとり行われます。ものづくりが好きな、車が好きな学生たち全国各地から集まった学生の熱気を感じに、そして、私たちKARTの勇姿を、是非ともご観覧にいらして下さい。皆様のご来場を、メンバー一同、心よりお待ちしております。(ご来場の際は、KARTオフィシャルアドレス kart.official@gmail.com までご一報下さい。)

■ KARTタイムスケジュール(予定、左から順に全体事項、静的審査、動的審査)

9/7(火) 12:00～ 受付		13:00～ 技術車検
9/8(水)	11:00～ プレゼンテーション審査 14:30～ コスト審査 15:15～ デザイン審査	8:00～ チルト試験 車重測定 騒音測定 ブレーキテスト
9/9(木)	<p>静的審査目白押し!! KARTの発表能力やいかに?</p> <p>大会の醍醐味、動的審査!! YJ-R08の能力を遺憾なく発揮します。</p>	8:00～ アクセラレーション スキッドパッド 13:00～ オートクロス 排ガス計測
9/10(金)	<p>クライマックスはエンデュランス!! 目指すのはもちろん最速です!!</p>	8:00～ エンデュランス 燃費計測
9/11(土) 12:00～ 表彰式	11:15～ デザインファイナル	

■会場までのアクセス

電車でお越しの場合

最寄駅 JR東海道本線 愛野駅（エコパ内「エコパアリーナ」まで 徒歩約14分）

エコパアリーナから競技会場エリアまでは「無料シャトルバス」をご利用下さい。

お車でお越しの場合

東名高速道路 掛川I.C. から約8分 / 袋井I.C. から約14分

駐車場は「東第2駐車場」をご利用下さい。（他の駐車場はご利用頂けません。）

エコパ出入口は袋井ゲートのみとなります。掛川ゲートからの入退場はできませんのでご注意ください。

詳しくは、 <http://www.jsae.or.jp/formula/jp/8th/guest.html> をご覧下さい。

また、より詳細な情報が大会ホームページ(<http://www.jsae.or.jp/formula/jp/>)でもご確認いただけますので、そちらもあわせてご覧下さい。

学生フォーミュラ大会と日本の若手機械技術者の育成について、

<http://jbpress.ismedia.jp/articles/-/2216> に参考になる記事がありますので、是非とも一読される事をおすすめ致します。（この項、久保愛三記載）